

令和4年度 医療安全管理部 包括的公表

医療安全管理部医療安全管理室

海南病院では医療安全対策に関する事案の包括的公表を行っています。

1. 目的

: 患者の知る権利を保障し医療の透明性を確保するため、更に職員に医療安全の意識の向上と事故の再発防止に役立てることを目的とする。

2. 対象

: 報告の対象となるものは、患者の生死にかかわる極めて重大なものに限らず、院内で発生したすべてのインシデント・アクシデント、予期しない薬剤などによる重大な副作用や、広く社会に警笛を鳴らす意義が大きいと考えられる報告もその対象としている。

3. 医療安全報告件数（公表基準に基づき、令和4年度集計結果を公表）

1) 事象レベル

事象レベル	傷害の継続性	傷害の有無	傷害の程度
レベル 0.01	なし	なし	仮に実施されていた場合、患者への影響は小さかった（処置不要）と考えられる
レベル 0.02	なし	なし	仮に実施されていた場合、患者への影響は中程度（処置が必要）と考えられる
レベル 0.03	なし	なし	仮に実施されていた場合、身体への影響は大きい（生命に影響しうる）と考えられる
レベル 1	なし	なし	患者への実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できない）
レベル 2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）
レベル 3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の抱合、鎮静剤の投与など）
レベル 3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長）
レベル 4	永続的	高度	永続的な障害や後遺症が残った
レベル 5	死亡		死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）

2) 令和4年度 医療安全報告件数

事象レベル	レベル 0.01～3b	レベル 4～5	計
報告件数(件)	3760	2	3762

### 3) 令和4年度 事象分類別報告件数

事象内容	年間件数	構成比	昨年同期	増減(件)
薬剤関連	920	24.5%	935	△15
輸血	20	0.5%	17	3
治療・処置	151	4.0%	181	△30
医療機器・用具	86	2.3%	150	△64
ドレーン・チューブ	757	20.1%	916	△159
検査関連	336	8.9%	365	△29
療養上関連	1302	34.6%	1470	△168
物品搬送	1	0.0%	1	0
放射線管理	0	0.0%	0	0
診療情報管理	152	4.0%	165	△13
患者・家族の説明	17	0.5%	20	△3
施設・設備・その他	20	0.5%	12	8
合計	3,762	100%	4,232	△470

### 4. まとめ

令和4年度は、前年度と比較して全体に報告件数の減少がみられた。新型コロナウイルスのクラスターにより大幅な病床制限などにより、入院患者数の減少が影響したと考えます。

医療事故の発生については、事象レベル4～5が2件発生しました。

事象レベル5：入院中の患者で食事摂取中に誤嚥し、救命処置を行ったがお亡くなりになった事例が発生し、より安全な食事が取れるよう、嚥下の評価や食事の形態の見直しを行いました。

事象レベル4：令和4年3月ロボット支援下腎部分切除術で使用したシリコン性の血管テープが約3cm腹腔内遺残し、7月のCT検査で確認しました。10月に摘出術を行いました。手術後、右大腿部近位前方部感覚鈍麻が残存しました。病院として重く受け止め、再発防止に向け取り組んでいます。